

どうしたら
みんなに
信頼される

ウソとズル

記事内容はわたし個人の見解であり、すべての方への有効性は保証できません。
ご意見などの宛先 horikawassw@gmail.com



放デイ・ひなたぼっこで時間をもらって、子どもたちとゲームをしています。

遊びを通しての学びは、自然に定着してゆくのです。理論はそうですが、子どもたちには説明しません。おとなにも、かな笑

☆1

ゲームには必ず**決まり事**があります。

そのルールに沿ってプレイすることで、安心して勝ち負けが楽しめるのです。

ここで、ルールから外れたプレイを**ズル**と言います。社会では不公正と呼びます。

ウソとズルは違います。現実と違うことがウソです。普段、ウソは悪い事です。でも、ゲームの中ではウソが許されますが、**ズル**は許されません。

ウソとは呼ばないけれど、アニメや漫画、ドラマでは、現実には起きるはずのない事が描かれ、それを楽しんでいます。

ゲーム・遊びもその仲間、生活を豊かにしてくれるウソなのです。

★2

普段のわたしたちは、喜ぶ・悲しむ・怒るなどの感情を、なるべく表に出さないように抑えています。

それはなぜでしょう。

わたしたちはみんな、周りとの違いがトラブルを生むことを知っています。そのた

め何に感情を動かされるか、一人ひとり違うので自分の感情や考えを表現を控えているのです。

でも、自分の時間にはドラマやゲームを見て自由に感情を表現できますから、普段のストレスを解消し、楽しむことができるのです。

☆3

学校では**時間**と言う仕掛けを、徹底して訓練します。しかし**時間**は、周りに合わせてトラブルを減らす仕組みですから、結果として一人ひとりの自由を制限します。

放デイや児発に通って来る子たちは学校で、定型発達の子以上にストレスを感じています。同時にいくつものことを考えるのが苦手などの障害があると、たくさんの方がいるだけでうまく訓練できないスキルを身に付けているのです。

★4

ゲームもその一つ。ゲーム中の子どもたちは、安心して喜怒哀楽を表現できます。

だからこそゲームは、**自分**をどれくらい表現しても構わないか知る訓練に最適の時間なのです。

